リフォームボード
取付説明書

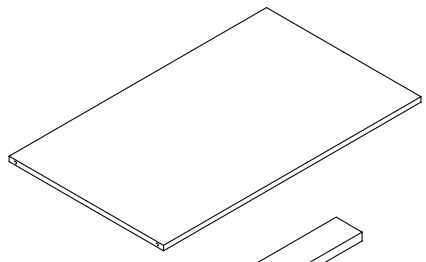
[本体用リフォームボード]
BB-FR-60178、60185、60190、60195、75178、75185、
75190、75195、90178、90190、90195、
100190、100195、105190、120190、120195
[アッパーキャビネット用リフォームボード]
BB-FR-6004、7504、9004、10004、10504、12004

取付前の注意

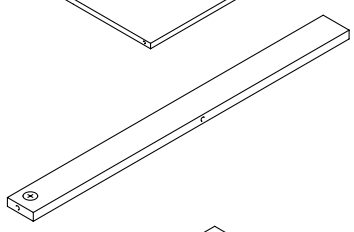
●取付けに際しては、必ずこの取付説明書に従い正しく取り付けてください。
※この取付説明書に記載されていない方法で取り付けされ、それが原因で故障を生じた場合は、商品の保証を致しかねますので十分ご注意ください。
●取付業者様は、商品に欠陥を生じさせる可能性を有しているゆえに、取付業者様が欠陥を生じさせた場合は過失責任を負うことを十分認識いただき、お客さまが安全で快適にご使用できるようにご協力ください。
●付属部品の内容と数量が合っていることを確認してください。

■付属部品（本体用BB-FR-60178,60185他）

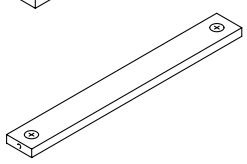
●上部ボード…1ケ



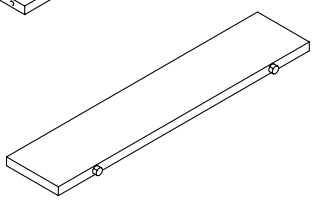
●縦桟木L…1ケ



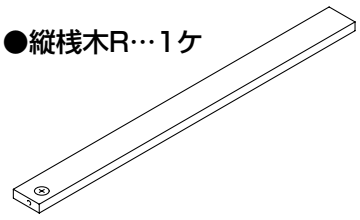
●横桟木1…1ケ



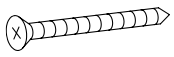
●横桟木2…1ケ



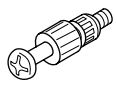
●縦桟木R…1ケ



●取付ビス（φ4.5mm×60mm）…8本

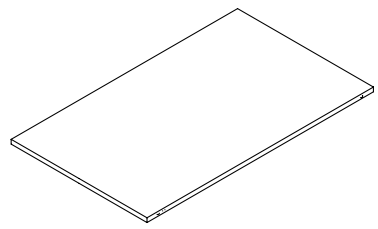


●ねじ止め式シャフト…6本

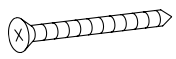


■付属部品（アッパーキャビネット用BB-FR-6004,7504,9004,10004,10504,12004の場合）

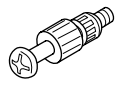
●上部ボード…1ケ



●取付ビス（φ4.5mm×60mm）…4本

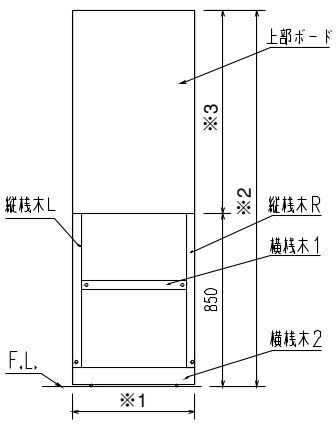


●ねじ止め式シャフト…2本



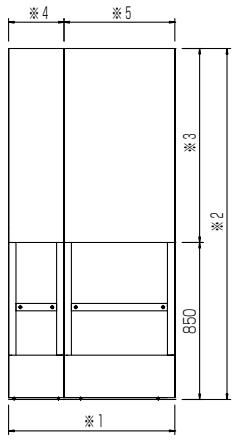
■寸法図（下図は組み合わせの事例です。）

1.本体用リフォームボード取付け事例
●W600mm（BB-FR-60178,BB-FR-60185,
BB-FR-60190,BB-FR-60195）
●W750mm（BB-FR75178、BB-FR-75185,
BB-FR-75190,BB-FR-75195）



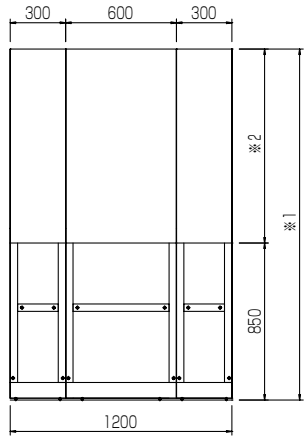
品番	※1	※2	※3
BB-FR-60178	600	1780	930
BB-FR-60185	600	1850	1000
BB-FR-60190	600	1900	1050
BB-FR-60195	600	1950	1100
BB-FR-75178	750	1780	930
BB-FR-75185	750	1850	1000
BB-FR-75190	750	1900	1050
BB-FR-75195	750	1950	1100

●W900mm（BB-FR-90190,BB-FR-90195）
●W1000mm（BB-FR-100190,BB-FR-100195）
●W1050mm（BB-FR-105190）



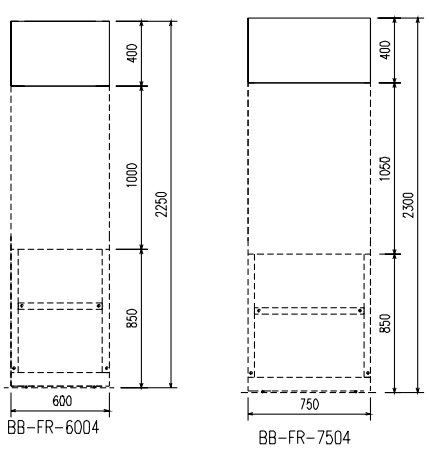
品番	※1	※2	※3	※4	※5
BB-FR-90178	900	1780	930	300	600
BB-FR-90190	900	1900	1050	300	600
BB-FR-90195	900	1950	1100	300	600
BB-FR-100190	1000	1900	1050	400	600
BB-FR-100195	1000	1950	1100	400	600
BB-FR-105190	1050	1900	1050	300	750

●W1200mm（BB-FR-12190,
BB-FR-120195）

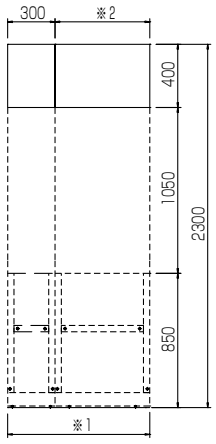


品番	※1	※2
BB-FR-120190	1900	1050
BB-FR-120195	1950	1100

2.アッパーキャビネット用リフォームボード取付け事例
●W600mm（BB-FR-6004）
●W750mm（BB-FR-7504）

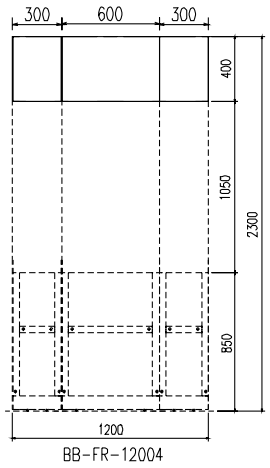


●W900mm（BB-FR-9004）
●W1000mm（BB-FR-10004）
●W1050mm（BB-FR-10504）



品番	※1	※2
BB-FR-9004	900	600
BB-FR-10004	1000	700
BB-FR-10504	1050	750

●W1200mm（BB-FR-12004）



安全のために必ずお守りください

●ここでは取付けに際して守らないと人身事故や、家財の損害に結びつく注意事項を挙げています。取付前にこの項目を良くお読みいただき、正しく取り付けてください。

用語および記号の説明

警告 ·····「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」

注意 ·····「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」

⚠ ·····「注意しなさい！」（上記の『警告』、『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）

⃠ ·····「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）

·····「分解してはいけません！」

❗ ·····「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

⚠ 警告

●修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
※ケガや故障が生じる恐れがあります。

●ストーブやヒーターなど熱を発生するものの近くに設置しないでください。
※変色や変形、火災をおこす恐れがあります。

お願い

●酸性、アルカリ性および塩素系の洗剤類、ベンジン、シンナー、ラッカー、アルコール等の溶剤や油類を使用してふかないでください。
※変色や変形の恐れがあります。（溶剤がつきますと後が残ることがあります。）

●直射日光があたる場合は必ずカーテンなどでさえぎってください。またスポット照明や殺菌灯を直接当てないでください。
※変色や変形の原因となります。

取付前の確認

⚠ 警告

取付強度を保てない場合、キャビネットが落下してケガをする恐れがあります。下記事項が守られていることを事前に確認のうえ、取付けを行ってください。

●この説明書に記載されている「乾式壁」以外には、取り付けないでください。記載の条件を満たさない場合は、壁を施工しなおしてください。 ❗

●壁の不陸が5mm／2mを超える場合は、必ず壁を施工しなおしてください。 ❗

〔補強木、仕上げ材の厚みの確認〕

●リフォームボード取付面は、壁裏に間柱、胴縁、補強木のいずれかが500mm以下のピッチで入っていることを確認してください。
※壁仕上げ材のみでは取付強度を保持できません。

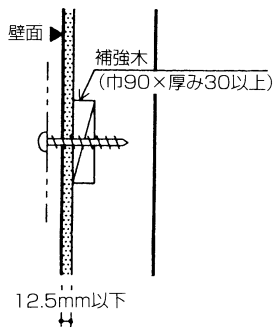
●間柱、胴縁、補強木が木製であることを確認してください。
※以下の構造体には取付けできません。
・軽量鉄骨構造・コンクリート造・木造土壁
・鉄骨造・ALC（軽量気泡コンクリート）
・木ずり下地

●リフォームボードの取付けには、付属の木ねじを使用してください。

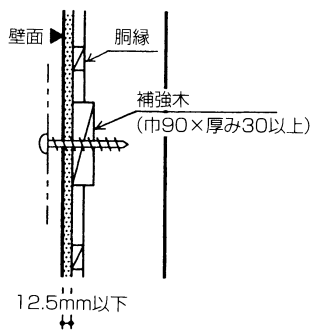
●補強木手前の仕上げ材は取付ねじを補強木に届かせるため必ずトータルの厚みで9.5mm以上12.5mm以下のものにしてください。12.5mmを越える場合は、越えた分だけ長い木ねじを別途用意してください。

乾式壁

●ボード類直張り



●ボード類胴縁取付け



1. 床面の確認

●設置する床は水平で著しい凹凸や不陸がないことを確認してください。

●床面は強固でぐらつき、たわみが生じないことを確認してください。
※リフォームボードがぐらついたり、取付精度（収まり）が悪くなる恐れがあります。

お願い

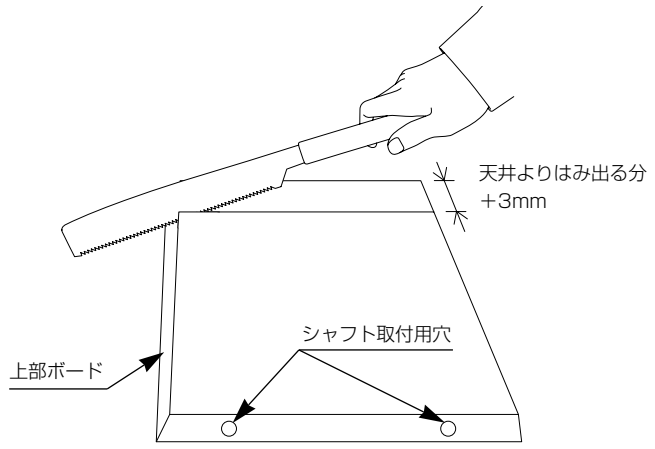
●浴室内などの高温多湿な場所や水が浸る可能性がある床面には設置しないでください。
※木部が水を含んで腐る恐れがあります。

●不陸が5mm／2mを越える場合は取り付けないでください。
※不陸があるまま取り付けるとボードがひずむ場合があります。

組立方法

はじめに

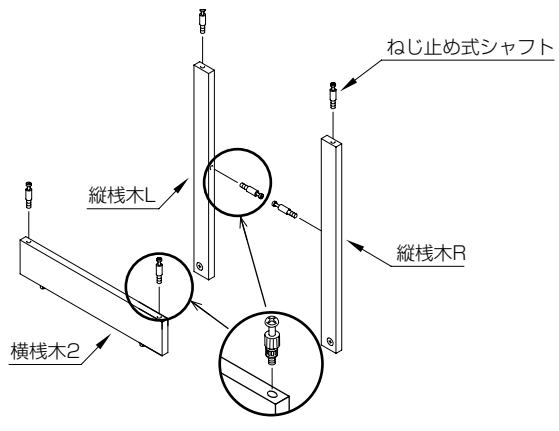
組立てを行う前に、以下のことを行ってください。
①床から天井までの高さ寸法を測定します。
②床から天井までの高さ寸法の値が、リフォームボードの全高の値より小さい場合は、天井の高さに合わせ上部ボードを切ります。その際、3mm分多めに切ります。
※組立てる時に、一番上になる上部ボードを切ってください。
※アッパーキャビネット用リフォームボードの上部ボードを切る部分は、シャフト取付用穴が付いている反対側を切ってください。



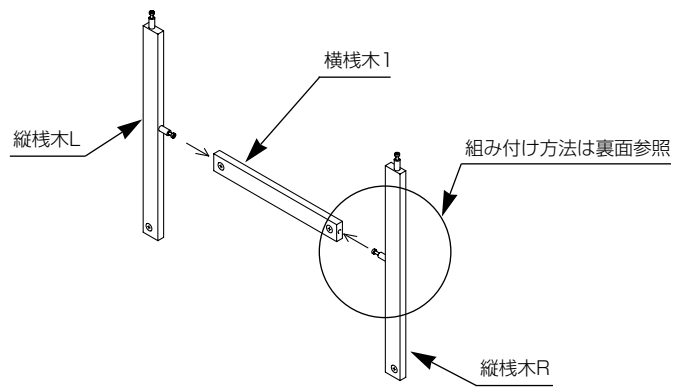
■リフォームボードの組立方法

〔W600、750用リフォームボードの組立方法
（BB-FR-60178、60185、60190、60195、75178、75185、75190、75195）〕

（1）縦桟木L、Rおよび横桟木2の穴加工部にねじ止め式シャフトを取り付けます。
※プラスドライバーでねじ止め式シャフトが垂直になるように取り付けてください。



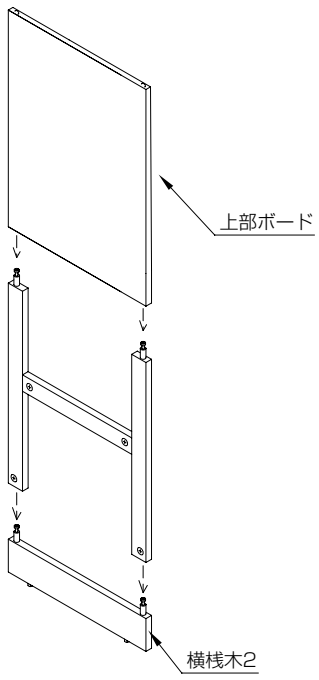
（2）縦桟木L、Rと横桟木1をねじ止め式シャフトに合わせて組み付けます。



⚠ 注意

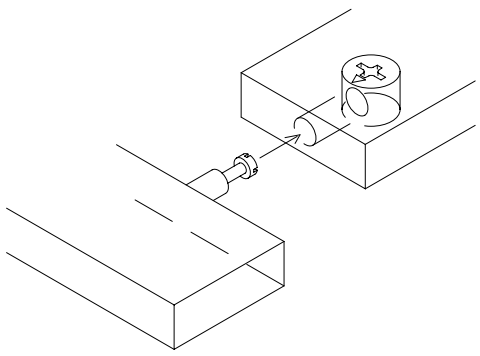
リフォームボードを設置した際、横桟木1が給排水管と干渉する場合はφ5の穴を縦桟L、Rの側面にあけ、横桟木1が給排水管を避けられるように組み付けてください。 ❗

（3）その後、図のように横桟木2と、上部ボードをねじ止め式シャフトに合わせて組み付けます。

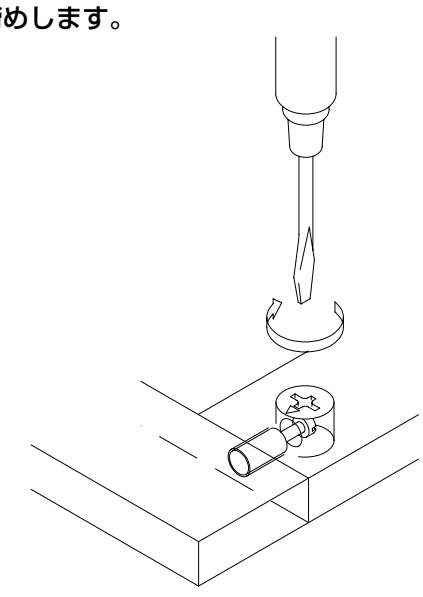


ねじ止め式シャフトの組み付け方法

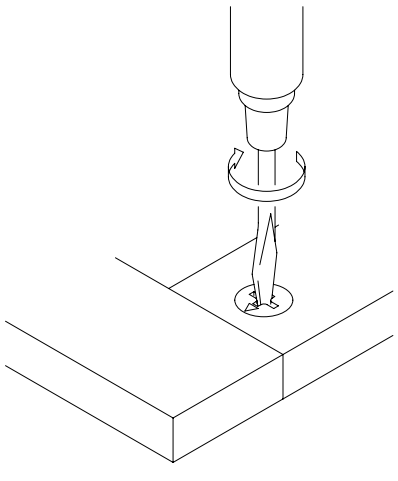
①合わせる板どうしを、水平に保ち、シャフト穴にねじ止め式シャフトを差し込みます。



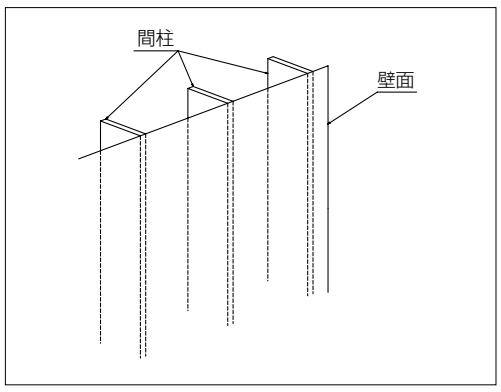
②板どうしを水平に固定しながら、マイナスドライバーまたはプラスドライバーで時計回りに手締めします。

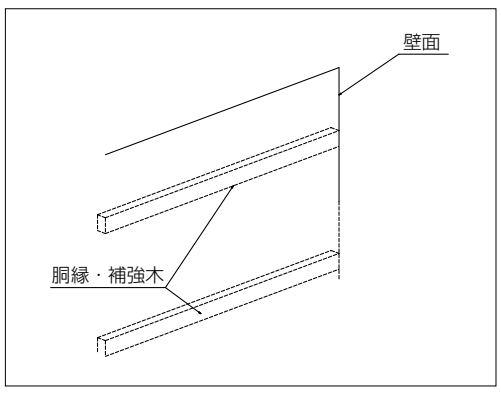


③時計回りに固くなるまで締め付けて固定されたか確認してください。



（4）市販されているプッシュ式針、または壁裏センサー等を用いて間柱、胴縁、補強木の位置を確認します。





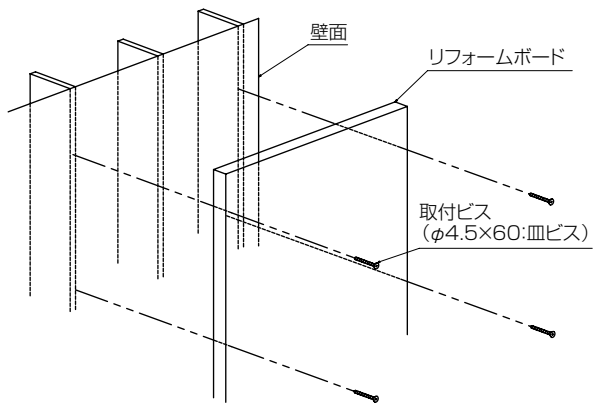
⚠ 注意

リフォームボードは間柱、胴縁、補強木のいずれかがある位置に必ず固定してください。
※商品の取付強度が不十分になり、脱落してケガをする恐れがあります。

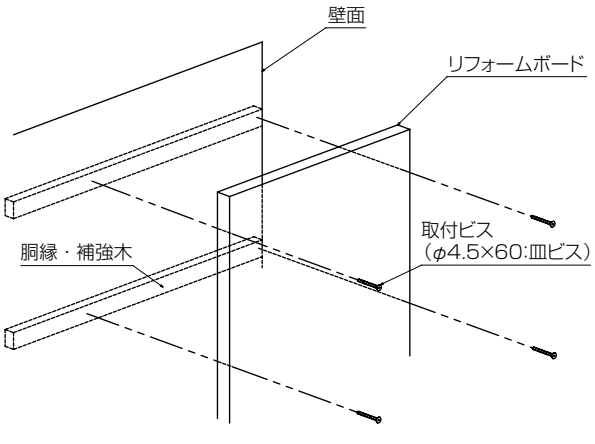
（5）間柱、胴縁などの位置からビス固定位置が取付けパターンA、Bどちらになるか確認してください。

取付けパターン表

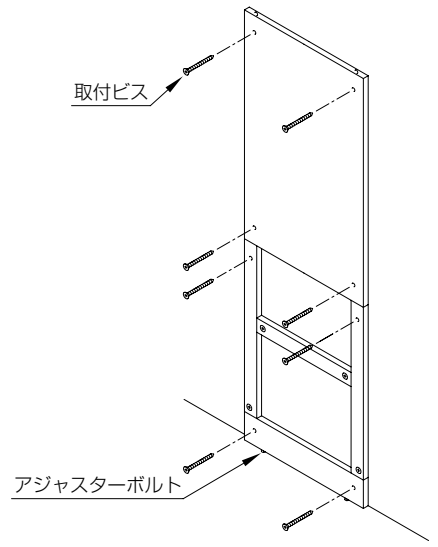
取付けパターンA（間柱の場合）



取付けパターンB（胴縁、補強木の場合）



（6）リフォームボード本体を床面に設置し、水平器を用いてアジャスターボルトで調節し、水平を確認します。その後リフォームボード本体を左右4か所ずつ取付ビスにて壁裏の補強木（間柱、胴縁）の位置に固定してください。



お願い

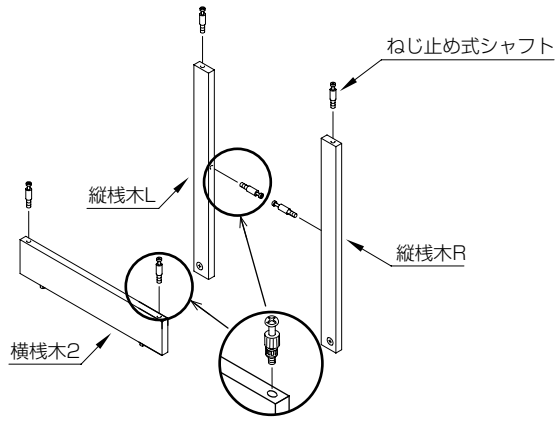
下穴をφ5mmのドリルであけてください。その際、ねじ止め式シャフトに当たらないよう注意してください。ビス固定位置は取付ビスが見えないよう、化粧台本体より内側になるようにリフォームボードの外端から10mm以上離して固定してください。

ワンポイント

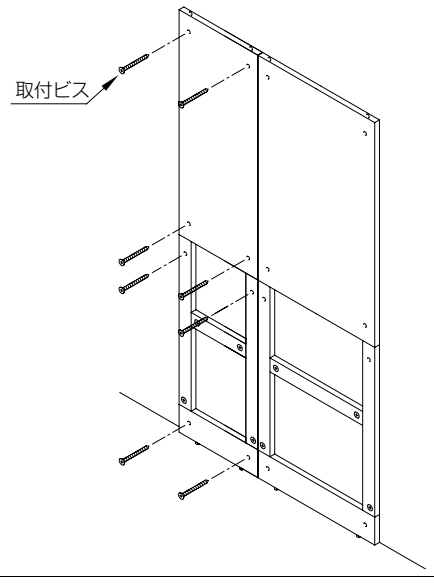
●取付け壁面に巾木がある場合は、横桟2を組付けずに巾木の上にリフォームボードを取り付けることもできます。
その際にも必ず取付ビスは、壁の間柱、胴縁、補強木部分に固定してください。

〔W900、1000、1050、1200用リフォームボードの組立方法（BB-FR-90190、90195、100190、100195、105190、120190、120195）〕

（1）2ページW600、750用リフォームボードの組立方法（1）（2）と同様に縦桟L、Rおよび横桟2の穴加工部にねじ止め式シャフトを取り付けます。
その後、それぞれを組み立ててください。
※プラスドライバーでねじ止め式シャフトが垂直になるように取り付けてください。



（2）壁固定されたリフォームボード本体の横にすき間の無いよう設置し、リフォームボード本体を左右4か所ずつ取付ビスにて壁裏の補強木（間柱、胴縁）の位置に固定します。



お願い

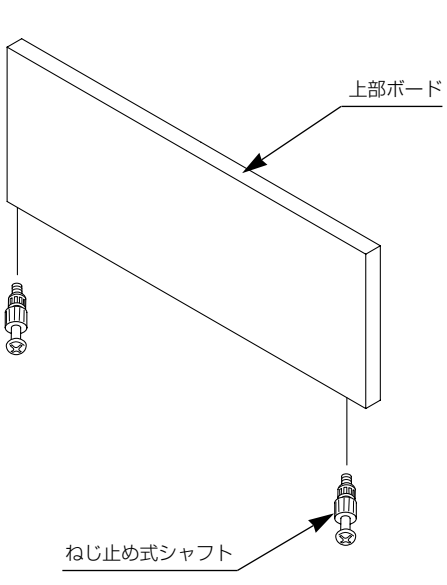
下穴をφ5mmのドリルであけてください。その際、ねじ止め式シャフトに当たらないよう注意してください。ビス固定位置は取付ビスが見えないよう、化粧台本体より内側になるようにリフォームボードの外端から10mm以上離して固定してください。

⚠ 注意

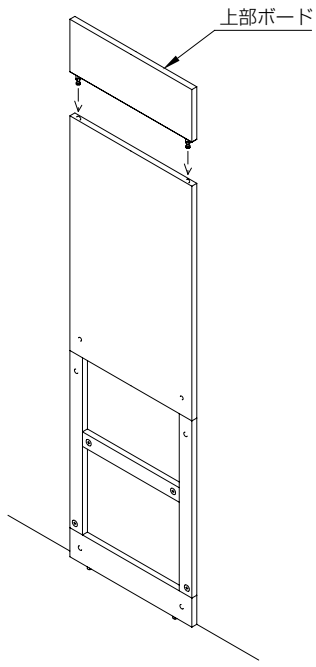
必ず間柱、胴縁、補強木のいずれかの位置を確認してください。
※商品の取付強度が不十分になり、脱落してケガをする恐れがあります。

〔W600、750アッパーキャビネット用リフォームボードの組立方法（BB-FR-6004、7504)〕

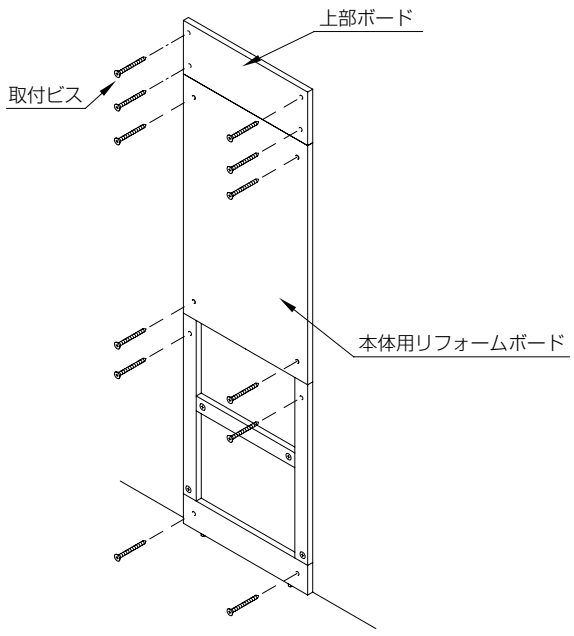
（1）上部ボードの下面のねじ止め式シャフト用の穴にねじ止め式シャフトを取り付けます。
※プラスドライバーでねじ止め式シャフトが垂直になるように取り付けてください。



（2）上部ボードをリフォームボード本体に、ねじ止め式シャフトに合わせて組み付けます。
※上部ボードは、リフォームボード本体を壁に固定する前に組み付けてください。



（3）上部ボードとリフォームボード本体の左右両端から50mm以内で左右6か所ずつ取付ビスにて壁裏の補強木（間柱、胴縁）の位置に固定します。



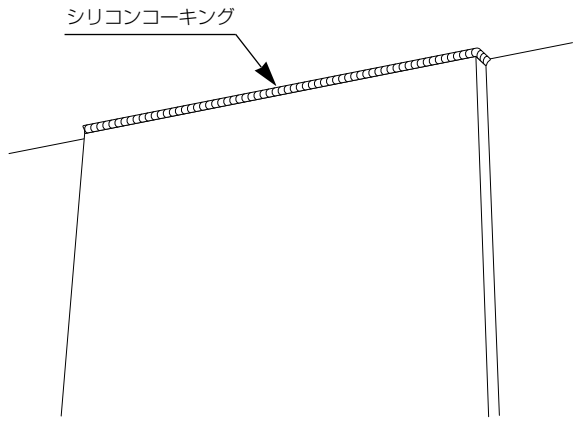
⚠ 注意

リフォームボードは間柱、胴縁、補強木のいずれかがある位置に必ず固定してください。
※商品の取付強度が不十分になり、脱落してケガをする恐れがあります。

〔W900、1000、1050、1200アッパーキャビネット用リフォームボードの組立方法（BB-FR-9004、10004、10504、12004)〕

W600、750アッパーキャビネット用リフォームボードの組立方法（1）（2）と同様に、上部ボードを組み立て、化粧台の間口に合わせて、各々対応する上部ボードを本体用リフォームボードに取り付け、壁固定してください。

■上部ボードを切った場合
図のようにシリコンコーキングを行ってください。



取付後の確認

■リフォームボード本体の確認

（1）リフォームボードのねじ止め式シャフト、取付ビスが十分に締まって、ゆるみがないことを確認します。

（2）リフォームボード自体にガタツキ、壁とボードとのすき間がないことを確認します。